

社会福祉法人 十字の園

ぶどうの木

(ヨハネ福音書 15章)

発行：(社福) 十字の園本部事務局
理事長 森本節夫

〒431-1304

住所：静岡県引佐郡細江町中川7220-11

☎ <053> 439-9100 FAX 437-1352

わたしにつながっていれば、いよいよ豊かに実を結ぶ

— 法人役割としての公報 —



理事長

理事長 森本節夫

これら実行実施のための施設間調整、他機関等との調整等(調整能力)が求められます。

第二として今後の福祉経営を考えた場合、法人職員は無論のこと、施設利用者及びご家庭を始め、多くの方々と共に「情報の共有」と「情報の公開」が求められる時代を迎えたのであらうと思います。特に法人本部の役割と機能の変化の中での情報の共有と情報の公開は、本部としての企画、開発、調整等の今後の役割発揮において重要なテーマとして考えています。

このような状況変化と背景の中、本部事務局発行の本部機関紙「ぶどうの木」が誕生いたしました。「ぶどうの木」は神様と人間の関係を喩える物語として聖書にしばしば登場をいたします。当法人の理事会では開会に先立ち伝統的に標題の新約聖書のヨハネ福音書15章が理事長において朗読され会議を始めます。「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。わたしにつながっていながら、実を結ばない枝はみな、父が取り除かれる、しかし、実を結ぶものはみな、いよいよ豊かに実を結ぶように手入れをなさる。」・・・(新共同訳)

何よりもこの機関紙を通し、法人のビジョンが常に明確され、確認されたいと願います。

定前に、ハニ・ウォルフさんの「今の日本にねたきりの人の老人ホームが必要です」の提言に、土地のことも金のことも考えずに動き始めました。聖隷からの土地と、ドイツの人の1マルク献金で建ててしまいました。

「介護保険」、これで高齢者福祉は万全だとだれも思ってはいません。初代理事長の鈴木生二氏は「十字の園は常にパイオニアの精神」を持ってほしいと言われました。私の口癖は『福祉はロマン』という言葉です。

今世紀最後の参議院選挙の行方が注目されています。21世紀を目前にして何もかも大きく変化し、又変化しようとしています。私達の福祉の分野も例外でなく、平成12年度から実施予定の「公的介護保険」の導入を前に「生き残り」のための施設設備の充実を始め、業務見直し点検等急ピッチで進めているところです。その中で法人傘下の施設は、今後いかに施設独自の特色、特徴を持ちそれが有効に地域に知らされて、利用者の信頼と期待の中で施設を利用していかかが課題となります。

さて、このような福祉状況変化の中、法人(法人事務局)は今後どのような役割を担いその役割を果たしていけば良いのであろうか、当法人では従来、施設事務のサポーター的役割が主要業務ではなかったか、無論本部において施設事務をサポートしていくことを軽視するつもりはありません。

従来の「措置費」が施設単位で支払われていたことから、介護保険導入による「介護保険料」の支払われ方に変化があれば(法人に直接に)、お金の流れからも法人本部機能の変化が期待され、又、変化しなければならないと考えます。その第一は、福祉ニーズの発見、開拓、法人ビジョンに立った新たな福祉サービスの提供(企画、開発能力)と実行が更に求められる。又、

♪いつでも夢(ロマン)を♪

事務局長 平井 章

自称サユリストの私、2年前のクリスマスに妻から「吉永小百合写真集」を贈っていただきましたが、複雑な気持ちで、本棚に置いています。でもふと♪星よりひそかに 雨より優しく……お持ちなさいな いつでも夢を……♪と歌っています。あなたの《夢》何ですか、《夢》持っていますか。夢(ロマン)には冒険の意味が込められているのです。十字の園は老人福祉法の制

浜松・御殿場施設整備補助金内定うける

法人の中長期計画の中で論議し具体的準備を進めていました施設整備計画において、正式に補助金交付の内定を受けましたので、その概略をお知らせし、関係各位の引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。

＜浜松計画の概要＞

近隣市町村の「老人福祉計画」において浜松十字の園に対する在宅福祉サービス事業の期待は大きく、特にショートステイ事業の拡充、知的後退老人（痴呆老人）のためのデイサービス事業（E型）等の実施が求められてきました。今回、国、静岡県、地元細江町の補助金と強力なご支援とご理解を得て、施設整備に着手します。

・施設整備の種類・内容

ショートステイ 16名の増床（完成時 20床）
 デイサービスセンター E型
 ヘルパーステーション
 地域交流室

・建物規模構造

建築合計面積 延べ 660.74㎡
 鉄骨耐火構造平屋建

・完成年月日（事業開始年月日）

平成 11年 4月 1日（予定）

＜御殿場計画の概要＞

御殿場十字の園は築後 27年が経過し老朽化

が進み入所者処遇に支障が出始め、特に大規模地震の被害予測で耐震性が非常に劣るとの判定結果が示され、入所者の安定確保、生活健康面での更なる処遇の向上をはかるために全面改築を計画し、合わせて地域市町村の「老人福祉計画」「身体障害者福祉計画」に基づき施設の再整備を図るものです。今回、国、静岡県、地元御殿場市の補助金と強力なご支援とご理解を得て、施設整備に着手いたします。

・施設整備の種類・内容

特別養護老人ホーム（107名）全面改築
 デイサービスセンター B型全面改築
 ショートステイ 9名の増床（完成時 10床）
 在宅介護支援センター改築
 ヘルパーステーション改築
 診療所（内科・歯科）改築
 デイサービスセンター E型新設
 身体障害者デイサービスセンター新設
 地域交流室・その他新設

・建物規模構造

建築合計面積 延べ 5,723.06㎡
 鉄筋コンクリート造 3階建て

・完成年月日（事業開始年月日）

平成 12年 4月 1日（予定・2ヵ年事業）

◆ 社会福祉法人 十字の園 平成 9 年度決算報告 ◆ 事務局長 平井 章

決 算 総 括 表 (単位：円)

会 計 名	収入決算額	支出決算額	差引残高	
本 部 会 計	165,262,374	137,849,018	27,413,356	
施 設 会 計	浜松十字の園	425,213,824	421,442,709	3,771,115
	御殿場十字の園	368,134,449	355,780,800	12,353,649
	伊豆高原十字の園	248,751,155	259,875,415	△11,124,260
	アドナイ館	88,107,550	88,144,262	△36,712
特 別 会 計	御殿場在宅事業	42,699,946	42,699,946	0
	伊豆高原在宅事業	81,655,091	81,655,091	0
	アドナイ館在宅事業	31,920,747	31,784,160	136,587
	十字の園診療所	38,453,024	38,232,641	220,383
	御殿場十字の園診療所	31,536,006	28,425,304	3,110,702
合 計	1,521,734,166	1,485,889,346	35,844,820	

財 産 目 録 (単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資金	218,196,810	流動負債	60,180,217
現金	21,890	未払金	55,502,557
預金	162,833,141	預り金	4,677,660
立替金	457,054		
前払費用	376,385		
未収金	52,420,213		
薬品	2,088,127		
固定資産	2,868,189,534	固定負債	453,287,413
土地	107,003,356	借入金	321,297,796
建物	2,223,765,448	引当金	119,989,617
固定資産物品	333,179,778	積立金	12,000,000
他の固定資産	204,240,952		
資産合計	3,086,386,344	負債合計	3,559,853,974

差引正味財産（純資産） 2,572,918,714円

平成 9 年度事業報告

- 役員会 理事会 4回 評議員会 3回 開催
- 監査 監事監査・内部監査 2回 実施
- 運営会議 運営の推進・連携に 3回 開催
- 研修 4月 事務職員 7月 介護職員
10月 栄養士 12月 法人大会

- 施設運営 浜松、御殿場、伊豆高原の特別養護老人ホーム及びアドナイ館のケアハウス事業が順調な運営を実施した。
- 在宅事業 各施設で実施している在宅福祉が、地域のニーズに応え実施した。
- 特別事業 伊豆高原ショートステイの3名増床 浜松・御殿場計画の国庫補助の申請

(福) 十字の園豆知識

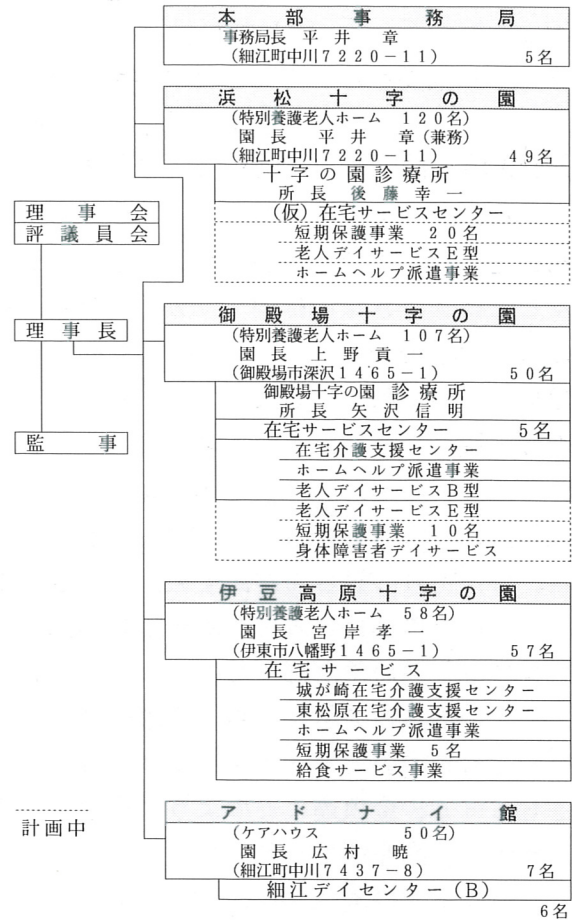
このスペースは、職員としての法人の共通理解のために、法人組織、法人意志決定機関である「理事会」「評議委員会」、法人の歴史等様々な角度から法人の立場として連載したいと考えています。

平成10年度 法人事業と組織概要

定員30名、職員十数名の「十字の園」が浜松の地に誕生して40年近い年月の中、法人は右表のようにそれぞれの地において時代と福祉ニーズに応えるために事業拡大してきました。それに伴い職員も総勢179名(1/6現在浜松十字の園給食外部委託職員を除く)施設利用者の内、入所者335名、ショートステイ定員10名(施設整備完成後35名)通所サービス利用者30名(施設整備完成後61名)その他、相談事業、ホームヘルプ派遣等多くの事業展開と将来計画の中、法人は着実な歩みを続けています。

M生

社会福祉法人 十字の園 運営組織図



サポーター (第1回)

<アンケート>

- ①どのような仕事をしていますか? ②あなたの性格は?
③趣味(凝っていることは)? ④あなたの宝物? ⑤将来の夢は?

♡平井章 ①いろいろありすぎて書き切れません ②明朗・快活 ③音楽(クラシックからナツメロまで) ④聖書(当然だけど) ⑤「夢食うバク」なので、その都度夢だらけ

♡山川文敏 ①法人事務 ②ナイルグトゥルナイル(琉球語) ③TVの録画「N響アワー」「日曜美術館」「日本の話芸」「堂々日本史」 ④人もし全世界を儲くとも、己が命を失わば、何の益あらん(新約聖書マタイ16:26) ⑤ディアコニア的人生(現在も将来も)

♡宮崎美帆子 ①事務職一般 ②優柔不断 ③歴史(古代・中世史) ④愛猫(ジジとチロ) ⑤世界の国々を歩きたい

♡大谷光宏 ①いろいろ・・・ ②牛のような性格 ③スポーツ(ソフトボール) ④自分の命 ⑤大きな牛になりたい



(左より宮崎、大谷、森本、平井、山川)

それぞれの地域で <施設往来>

<浜松十字の園> ~Y.K特派員

6月より園長さんが交替され平井さんが就任されました。新園長は、まず職員全員と面接をしないと申され、嬉しげにいそいそとスケジュール表を作成、次に面接にあたっての自己分析表配布、記入してイザッ!面接へ。いきなり聞かれたことは「好きな色は何ですか」。面接を終えた人に様子を聞くと、「平井さんのあの調子にはまってつい喋ってしまった」。平井さんの《破顔一笑》に要注意!は十字の園の合言葉。

<御殿場十字の園> ~H.T特派員

「僕達は十字の園の池に住んでいる金魚です。毎日、お年寄りのHさんが餌を沢山くださいます。お陰様で僕達はとっても幸せです。けれど、近頃なにやら池の外が騒がしくなって来ております。何かあるのでしょうか。物思いにふけている今日この頃です。」・・・十字の園の改築にともなって、金魚達にどのように内示を知らせようかと、頭を悩ましております。

<伊豆高原十字の園> ~K.A特派員

7月初旬に、10人乗り(含車椅子4台)のリフト付マイクロバスが納車されます。

「思ったより大きく、現在あるリフト付車両が小さく見えた」という生活相談員の言。

ナンバーは「4165」(よい老後)。語呂もよく、利用者の楽しみを大いに乗せて、レクリエーションや行事に幅広く活躍することが期待されています。

<アドナイ館> ~A.S特派員

焼却炉にゴミを捨てに行くと、いつも目に留まるのが危険物置き場の柵に収まっている猫。

焼却炉から出るダイオキシンには我関せず、といった風情です。

アドナイ館では、7月からゴミの分別収集方法が細くなります。きっと、とまどう入居者も多いでしょう。解らないときは猫に・・・!?「わかんにゃあ」とぐらいいは言ってくれるかも。

<本部事務局> ~A.H特派員

『1等賞金1億5千万円!サマージャンボ宝くじ発売中』の看板をみましたが、「な〜んだ1億5千万円か」とつぶやいてしまいました。

何せ御殿場十字の園の改築の借入金6億9千万、御殿場市補助金2億、国県補助金10億と金銭麻痺を起こしそうです。ふと我に返って家計簿を覗くと1円の世界が見えます。この夏の事務局は忙しくなりそうです。健康に注意!

人事往来・喜び・悲しみ

<就 職> †どうぞよろしく†

☆浜松十字の園 4/1杉山香織(介護士)
4/1源馬加織(介護士) 4/1中村久美(介護士)
4/1神澤希代美(介護士)4/1北村仁美(介護士)
☆御殿場十字の園 4/1石田繭香(介護士)
4/1勝又めぐみ(介護士)4/1斎藤理絵(介護士)
4/1河合美代子(介護士)4/1宮島克利(デイ相談員)
4/1石井敬一(調理師) 4/1杉山裕二(調理師)
☆伊豆高原十字の園 4/1竹田文子(介護士)
4/1江野哲史(介護士) 4/1土屋康美(看護婦)
4/1龍野ひとみ(機能訓練士)

<退職> †ごくろうさまでした†

☆浜松十字の園 6/30白井光子(介護士)
☆御殿場十字の園 6/30増田久美(介護士)
☆伊豆高原十字の園 5/10三條全子(看護婦)
6/30大矢良子(介護士)6/30橋本陽子(ヘルパー)
☆アドナイ館 6/30谷澤泰美(介護士)

<結婚・ご出産> お幸せに! お健やかに!

☆アドナイ館 6/19上村智恵(栄養士) 結婚

<弔慰> †心よりご冥福を祈ります†

☆浜松十字の園 5/27森本静子(看護婦) 実母

<人事発令> 6月1日付き

平井 章(新)法人事務局長兼浜松十字の園園長

(旧)細江デイサービスセンター所長

廣村 暁 アドナイ館施設長

兼 細江デイサービスセンター所長

山川文敏(新)法人本部事務局

(旧)浜松十字の園園長

青木克文(新)伊豆高原十字の園次長

(旧)伊豆高原十字の園在宅福祉主任

<あとがき>

私(機関紙)は、たった今生まれたばかりでまだヨチヨチ歩きもできません。一日も早く歩けるようになるためには、読者の皆様のお力添えが、どうしても必要です。今後とも、ご指導ご支援のほど、よろしく願います。 牛